学校番号	3010

令和5年度　工業（映像デザイン）　　科

教科	工業	科目	映像表現	単位数	２ 単位	年次	２　年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像表現に必要な3つの分野(写真・ビデオ・CG)の中から、前・後期で２つを選択して学びます。各実習に関する実用的な知識と技術を講義と実習を通して学びます。さまざまな機材の応用的な使い方と技術を身に付け、それぞれの特性を理解し、工夫を凝らした作品制作の基礎力と応用力を身に付けます。授業では作品制作にかかわる真摯な態度と提出物を重視します。

履修条件

写真：レンズ交換式カメラが準備できること　ビデオ：前・後期合わせて２４名以内
３DCG：前・後期合わせて３０名以内　映像デザイン科生徒を優先とする。

2　学習の到達目標

(1)映像分野の表現特性を理解し、個々の制作に応じた機材の選択、基本的な使い方と技術を身に付ける。
(2)さまざまな機材の特性を理解し、工夫を凝らした表現に取り組み、作品制作の基礎力と応用力を養う。
(3)作品制作を通じて、自らの学びにより生み出される映像作品の意義を知り、主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	工業技術（映像デザイン分野）に関する作品制作について知識や技術を習得する。	工業技術（映像デザイン分野）に関する課題を発見し、表現する力を身に付ける。	工業技術（映像デザイン分野）に関する広い視野を持つことをめざして自ら学び映像デザインの発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	写真演習	カメラ、レンズ、ストロボなどの機能を活用した写真作品の制作 プレゼンテーションを通じて写真の見方、考え方を相互に学ぶ	a:カメラ、レンズ、機材の使い方を理解している。 b:与えられたテーマを理解し、撮影場所や環境に合わせた撮影をおこなっている。 c:テーマを理解し、意欲的な観察、作品に反映させようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 実習態度 プレゼンテーション 振り返り
	ビデオ	CM制作およびCM研究	a:表現目的に合った機材を使い、作品制作が行える b:クライアントの要求を理解し、企画提案ができる。ターゲットを明確に想定した、商品企画と作品制作ができる。 Ｃ:自分の役割を考え、自ら協働することができる。学習内容を整理し、自分の意見としてプレゼンテーションできる。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品 企画書 CM分析	実習ノート 実習態度 プレゼンテーション 振り返り
	３ＤＣＧ	モデリング→マッピング→ライティング→レンダリングを繰り返し、空間認識能力を養いながら、３次元CGの制作過程の基礎を学ぶ。	a:ソフトを使うための表記方法や透視図法を理解し、ソフトを使用している b:空間把握とそれの表現について写真、三面図などの理解を深め、実測にも生かしている。常に３次元の見え方を観察している c:対象となるものへの興味関心があり、それが準備や進行に現れている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 実習態度 プレゼンテーション 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度